

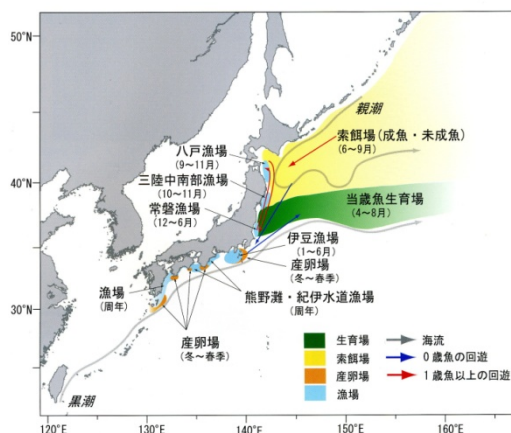


ゴマサバ 太平洋系群

主な漁業と漁期

未成魚・成魚 まき網:周年
棒受網:周年

ゴマサバ太平洋系群の生活史と漁場形成模式図



(国研)水産研究・教育機構資料

生態

ゴマサバは日本周辺で漁獲される代表的な浮魚であり、サバ節や切り身、鮮魚と幅広く利用されています。

●分布・回遊

日本近海を中心に黄海・東シナ海から日本海南部と北西太平洋に分布しています。

静岡県海域に分布するゴマサバは太平洋系群に属しています。太平洋系群の0歳魚は親潮域も含めた北西太平洋の広域に分布し、成魚は道南から東北の沿岸地域を索餌場とします。初夏に北上し、秋季まで索餌回遊を行います。その後冬季から春季にかけて南下回遊して産卵をします。

●産卵期・産卵場

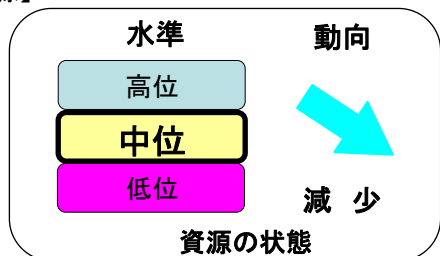
産卵期:1~6月で、最盛期は年により変動します。
産卵場:主要な産卵場は伊豆諸島周辺海域や熊野灘~薩南海域です。

●成長・成熟

寿命は6歳程度です。1年で20cmを超え、体重300g程度に成長します。その後成長速度は鈍化し、4年で30cm後半、体重700g程度に成長します。年により違いはありますが、2歳で成熟します。

漁業・資源動向

【資源】



- 2017年の資源評価では、太平洋系群の資源水準は中位となり、引き続き減少傾向にあります。
- 2016年の親魚量は12.5万トンであり、最低限必要とされる3.8万トンを上回っています。しかし、減少傾向にあり、さらに浮魚類は資源量の変動も激しいため、今後の動向に注視し、適切な管理を行うことが必要です。

《国の資源評価へのリンクはこちら》

ダイジェスト版

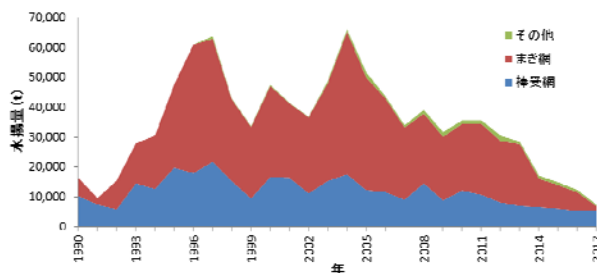
http://abchan.fra.go.jp/digests2017/html/2017_07.html

詳細版

<http://abchan.fra.go.jp/digests2017/details/201707.pdf>

【漁業】

- 静岡県では、主にまき網と棒受網により周年漁獲されます。
- 棒受網漁船が操業する伊豆諸島では三宅島周辺海域が主な漁場となっています。



ゴマサバ漁業種類別水揚量推移

※主要港合計:小川、沼津、静浦、伊東

担当者の一言:サバ節や切り身等、加工用としても人気があります。旬は夏季から冬季と言われています。

問合せ先

静岡県水産技術研究所資源海洋科 054-627-1817